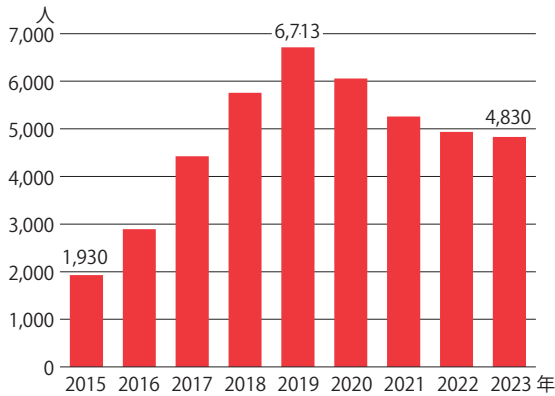


全国を下回る高齢ドライバーの「免許返納率」 ～マイカーに代わる移動手段の確保が必要～

- 高齢ドライバーによる交通事故の報道が多くなっている。警察庁によると、群馬における75歳以上の免許返納者数は、2019年まで増加した後、2020年以降減少に転じている（図表1）。これは、コロナ禍において、「3密」を避けるために、高齢者自らが車を運転する必要性が高まったことで、これまでの流れが変わった可能性がある。
- また、免許返納率^(注)をみても、2020年以降低下に転じており、2023年は2.8%となっている（図表2）。全国と比較すると、本県は低い水準で推移している。
- 本県は「マイカー社会」であるがゆえに免許返納率が低いと想像がつく。そこで、都道府県別の免許返納率と一人当たり乗用車保有台数の関係を分析したところ、一人当たり乗用車保有台数が多い都道府県ほど免許返納率が低い傾向がみられた（図表3）。なお、本県の一人当たり乗用車保有台数は全国1位で、免許返納率は同42位である。このため、運転免許証の自主返納を促すうえでは、返納後の生活に支障がないよう、マイカーに代わる移動手段の確保が必要といえる。

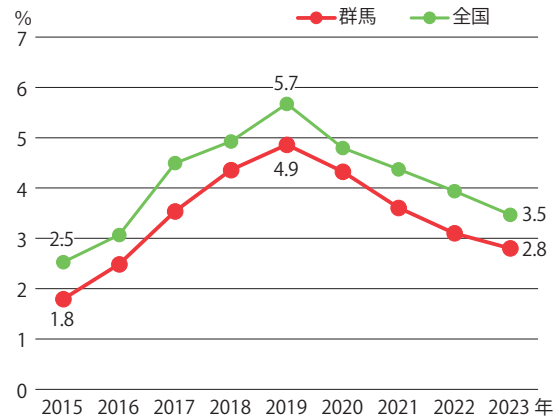
$$(注) \text{免許返納率} (\%) = \frac{\text{免許返納者数}}{(\text{年末の免許保有者数} + \text{免許返納者数})} \times 100$$

図表1 75歳以上の免許返納者数（群馬）

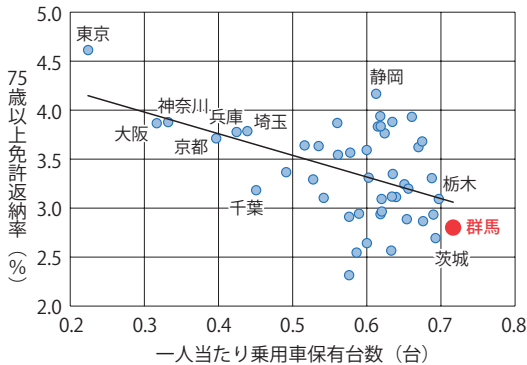


資料：警察庁「運転免許統計」（図表1、2）

図表2 75歳以上の免許返納率（群馬と全国）



図表3 75歳以上の免許返納率と一人当たり乗用車保有台数の関係（都道府県）



資料：警察庁「運転免許統計」、(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数月報（令和5年3月末現在）」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）」

【一口メモ】

- 県内での免許返納の手続きは、総合交通センター（前橋市元総社町80-4）や各地域の警察署、交通安全協会で行っている。
- 群馬県によると、県内の33市町村では、免許返納者へのサポートとして、運転免許証の代わりに本人確認書類として使用できる「運転経歴証明書」の交付手数料の助成や、バス・タクシー券の交付などを実施している（サポート内容は市町村によって異なる）。

（担当：稲田純也）